

令和2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち

施策 03 人権の尊重

基本事業 03 虐待などの人権問題の解消

主管課：児童福祉課

関係課：介護福祉課、市民協働推進課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
子ども、高齢者、配偶者	子ども、高齢者、障がい者、配偶者間の人権が尊重され、虐待などの人権問題が解消されるように努めます。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

児童虐待件数（年間）				(件)	児童福祉課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
1.00	0.00	1.00	0.00		0.00
向上指針	下がると良い			(状況) 虐待による入所措置が1件ありました。	
対前年度	低下			(原因) 父親からの虐待から子どもを守るために、親子を離す必要があると判断し、施設への入所措置となりました。警察や児童相談所等、関連する機関と連携し迅速に対応しました。	
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

児童虐待相談件数（年間）				(件)	児童福祉課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
36.00	47.00	50.00	30.00		30.00
向上指針	下がると良い			(状況) 前年度から3件増加しています。	
対前年度	低下			(原因) 子どもの前で親が配偶者に暴力を振るうなどの「心理的虐待」が平成30年度の37件から6件減少し31件に、「ネグレクト」（育児放棄）が5件から7件増えて12件になっています。虐待の通告に対する社会の意識の高まりから、相談・通告件数が増えていることも一因と考えられます。	
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

高齢者虐待件数（年間）				(件)	介護福祉課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
4.00	19.00	19.00	10.00		0.00
向上指針	下がると良い			(状況) 前年度と同数となっています。	
対前年度	横ばい			(原因) 地域、ケアマネージャー、介護サービス事業所等との連携強化を図っていることから、通報等により情報が多く寄せられるようになり、基準値より件数が多い状況になっています。件数は増加していますが、適切な虐待対応により、安心した生活を送ることができます。	
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

高齢者虐待相談件数（年間）				(件)	介護福祉課
基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度		目標値（R03）
7.00	19.00	19.00	10.00		5.00
向上指針	下がると良い			(状況) 前年度と同数となっています。	
対前年度	横ばい			(原因) 高齢者虐待相談については、地域、ケアマネージャー、介護サービス事業所等との連携による相談体制を構築し強化しているため、基準値より件数が多い状況になっています。研修会の実施により専門職のスキルアップを図り相談できる環境が整っているため、件数は増加していますが適切な対応ができていると考えます。	
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

DV相談件数（年間）	(件)	市民協働推進課
基準値(H26)	H30年度	R01年度
14.00	12.00	18.00
向上指針	下がると良い	(状況) 前年度と比較して相談件数が6件増加しています。 (原因) 増加の原因として、同一者から複数回相談を受けるケースの増加やDVを受けた際の相談窓口の周知を強化していることから、相談件数が増加していると考えられ、DVの件数が増加しているといことではないと考えます。
対前年度	低下	
目標達成度	低	
次年度課題	課題とする	

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度 決算	H30年度 決算	R01年度 決算	R02年度 予算	R03年度 見込
事業費合計	4,905	6,818	5,431	4,507	4,507
人件費	19,778	26,424	20,138	0	0
トータルコスト	24,683	33,242	25,569	4,507	4,507

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

児童、高齢者、障害者に対する虐待への通報・通告義務については、広報やホームページ等により周知を図っています。また、DV撲滅のための啓発にも取り組んでいます。

また、虐待の防止・予防のために、専門職員の充足を図り、相談体制の構築と相談できる環境を整えています。今後は、さらに職員のスキルアップを図り、こころ豊かに暮らせるまちを目指します。

推進状況	一部停滞あり
次年度への課題	課題あり
成果方向性	向上
コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価